



沖縄県小児保健協会創立50周年記念事業 特別講演

島嶼地域で考える 子どもものの未来

経済的可能性を求めて



YouTubeから
無料視聴できます!

※招待者以外は会場での聴講ができないため、
YouTubeよりご視聴をお願いします



スマートフォン、タブレットの方は
左のQRコードから
パソコンの方は下記より検索

沖縄県小児保健協会

人口減少社会の中で、子どもが希望をもち幸せになる未来を保障するためには、子どもの可能性を最大限に引き出し、心身の成長を支援する経済社会システムを確立することが必要です。

今回の講演では、「島嶼」という空間から子どもの未来について考えます。県内の15の島嶼市町村について2045年までの0～4歳、5～9歳、10～14歳の人口を推計し、将来の幼児数の動向を明らかにします。幼少人口が減少する中で、個々の子どもの可能性を引き出すためには、保健医療への投資と並び保育環境の整備や教育への投資が必要となり、そのための投資に対する基本的な考え方を提示します。子どもへの投資に関連して、こども家庭庁の予算を巡る議論についても言及します。

2023年

7/30日

講演時間

15:00～16:00

本講演は、記念式典の中で
開催されます



講師
紹介



おおしろ はじめ
大城 肇氏

琉球大学名誉教授。1951年6月23日に鳩間島で生まれる。1977年広島大学大学院経済学研究科修了。1989年に琉球大学法文学部に助教授として着任し、1994年教授に昇任。2004年に琉球大学アジア太平洋島嶼研究センター長、2013年4月から2019年まで2期6年にわたって琉球大学第16代学長を務めた。学長任期中に、医学部医学科に離島・北部枠を設け、離島や北部にサテライトキャンパスを設置した。現在は琉球大学特別顧問、沖縄県立看護大学非常勤理事、沖縄セルラー電話株式会社社外取締役など多くの団体で役職を務めている。

※記念式典の進行状況によっては、講演時間が前後する場合がございますのでご了承ください。

